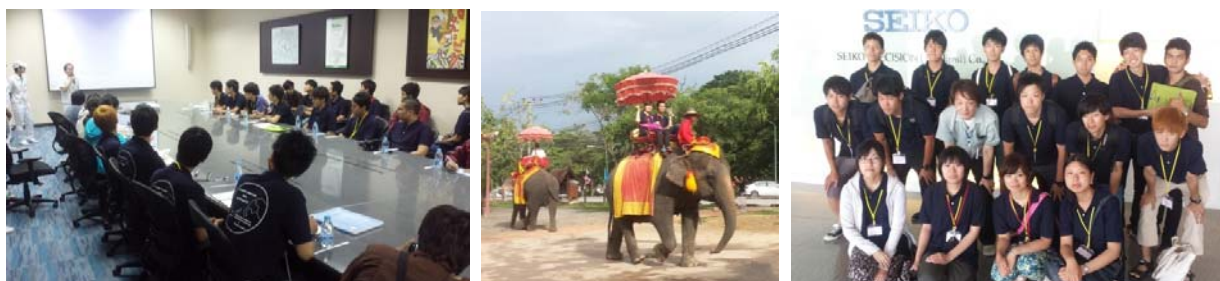


山形大学工学部連携サマープログラム 2013 in Thailand 無事終了！



平成 25 年 8 月 19 日～29 日に、山形大学工学部国際連携サマープログラム 2013 in Thailand を実施しました。国際連携サマープログラムは、海外協定校との交流を深めるために毎年行われている国際交流プログラムです。今回のサマープログラムはタイ王国ラジャマンガラ工科大学タニャプリ校（通称 RMUTT）で行われました。山形大学工学部からは 15 名の学生が参加、RMUTT から同数の学生が参加しました。プログラム期間中は、共に講義受講、研究室訪問、タイ文化体験など、様々な活動を行いました。また、本学参加学生からも日本文化紹介や、学生生活・研究活動紹介等を行い、双方向での活発な交流が展開されました。サマープログラム中の活動はすべて英語で行われ、タイ語がわからない日本人学生と日本語がわからないタイ人学生にとって英語が非常に重要な意思疎通のツールとなりました。



今回のサマープログラムの大きな特長となったのはタイにある日本企業に勤務する OB を訪問したことでした。アユタヤにある日本電産株式会社（NIDEC）と、RMUTT と同じパトゥムターニー県にあるセイコープレシジョン株式会社を訪問し、工場見学の後、OB から海外赴任の様子を語っていただきました。お二人とも、海外で勤めることは当然困難な面もあるが、世界の人たちと繋がり、日本では体験できないような文化と価値観を知ることによって、非常にやりがいを感じていると語ってくれました。参加学生はこの機会を通して、海外で勤めるとはということかを学ぶことができ、大変有意義な時間となりました。

共通言語となる英語を通し、文化や言葉が異なっても心を伝え合うことにより、人と人の友好は万国（バンコク）共通であるということを感じた有意義な 10 日間となりました。ご支援・ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。